

# 最賃は1500円に

## 春闘共闘で新春駅頭宣伝

1月7日、国民春闘共闘、東京春闘共闘に結集する仲間、都内5カ所のターミナルで、「最低賃金は全国一律で1500円に」と書かれたチ



新宿駅西口で宣伝する春闘共闘の仲間

ランの入ったティッシュを配布しながら新春の駅頭宣伝を行いました。新宿駅では、主催者を代表して小田川義和全労連議長が

コンは史上空前の利益を上げる一方で現場労働者の賃金が上がっていない現状、建設現場を改善する組合の取り組み、建設アスベストのたたか

## 歌声も響かせて

### 核廃絶訴え署名・宣伝



オリジナルのデコレーションを並べ歌う三角さん(右)と署名板を持つ畑澤さん

み、建設アスベストのたたかいなを語り、未組織建設従事者の東京土建への加入を呼びかけました。

## 公正な判決を求め 裁判所へ約6万筆署名提出



裁判所を背にして署名を前に並ぶ参加者

早期宣伝では、清水統一部事務局長次長、佃弁護士事務局長(東京)、西村弁護士(神奈川)、吉田東京2陣原告共同代表が次々とマイクを握り、国や企業が裁判で断罪され続けている事実、一方で依然として広がるアスベスト被害と解決のための救済基金創設などを訴える中、行動参加者は裁判所に出動して人々にチラシを配布しました。

## 中東への自衛隊派遣

東京土建からは木村潮人常任執行委員が発言。ゼネラル、正規との賃金格差は大きい。また、残業は少なくとも月40時間以内に制限、最賃は1500円、年収換算で300万円を保障することを要求するなどと訴えました。

広島・長崎に原爆が投下された6日または9日に、全国各地で毎月取り組まれている馬支部も加わる「ヒバクシャ

反核署名宣伝行動の「69行動」。練馬では、東京土建馬支部も加わる「ヒバクシャ

2020年の建設アスベストの法廷でのたたかいは、1月30日の東京高裁での神奈川2陣の結審、4月17日の東京地裁での東京2陣の判決と年の前半からヤマ場を迎えることになりました。

後の行動となる東京地裁(高裁)前での早朝8時30分からの宣伝と「すべてのアスベスト被害者を救済する判決を! 公正判決署名」の裁判所に提出する行動を、原告、弁護団、統一本部メンバーで行ないました。

この日提出したのは地裁に3万筆、高裁に2万9千筆です。

## 地域では「共助」 防災学習セミナー開催

杉並



講演を聞く参加者

【杉並・書記・高取一三三】杉並区における公契約条例の制定が間近に迫るなか、行政と地域の建設業団体および地域住民との取り組みを強めることを目的として、12月20日に「ウェルファーム杉並」において防災学習セミナーを開催しました(参加者は37人)。

冒頭、荻窪消防署天沼出張所の白石所長が連帯のあいさつをし、杉並区防災課の岡部主任よりの杉並区の防災体制について講演。そのなかでは職



岡部さん

員3000人は震度5強以上で全員参加することになっている。「杉並区人口57万人に対して、震災救援所は10万人しか受け入れ体制が出来ないので、まずは「自助(水、食料、集便袋など)の準備が必要」杉並区開発の防災地図アプリ「すぎナビ」などの話が

ありました。東京都防災管理課委託の佐藤講師からは「首都直下型地震への地域の備え」として、「地域で『共助』を備えることが重要」「日頃からの近所付き合いや地震を想定した共同訓練が大切」と話がありました。最後に杉並支部・吉田

ピーバース隊長より「隊員の緊急連絡網の整備や倒壊家屋からの救助訓練を行なっていく予定なので、みなさんの協力をお願いしたい」と訴えがありました。

## 社会保障の充実を

### 巣鴨駅頭で署名訴える



署名を訴える村上さん(右)

【社会保障の充実が国の責任。それなのに安倍政権になって、制度改悪が次々行なわれ、必要な医療や介護を受けられない人がふえている。また消費税が10%に引き上げられ、生活に困窮するひとも少なくない。今の政治を変える必要がある。』などと訴えました。

署名板を持って、積極的に道行く人に声をかけていた村上規子さん(世田谷)は、「若い人でも、『安倍政権をつぶさなくてはいけない』と訴えています」と話してくれました。

## 2020年前半のたたかいの山場控え

3万筆、高裁に2万9千筆です。